

二 簡易保險健康相談所ノ職員及傭人ニ關スル事項
三 簡易保險健康相談所ニ屬スル土地、建物、工作物及電話ニ關スル事項

第三十條第一項中「第一課及同第二課」ヲ「第一課、同第二課及同第三課」ニ改ム

別表ヲ左ノ如ク改ム

別表 課 名 受 持 區 域

東京第一課	東京府	（養老保險契約ニ關スル事務ニ付テハ第二十四條第一號乃至第五號ニ據テ事務ヲ除ク）
東京第二課	東京府	（東京第一課ノ主管ニ）
東京第三課	東京府	（東京第一課ノ主管ニ）
東京第四課	東京府	（東京第一課ノ主管ニ）
名古屋第一課	名古屋府	（名古屋第一課ノ主管ニ）
名古屋第二課	名古屋府	（名古屋第一課ノ主管ニ）
大阪第一課	大阪府	（大阪府ノ主管ニ）
大阪第二課	大阪府	（大阪府ノ主管ニ）
廣島	廣島縣	（廣島縣ノ主管ニ）
第一課	熊木縣	（熊木縣ノ主管ニ）
第二課	長崎縣	（長崎縣ノ主管ニ）
第三課	佐賀縣	（佐賀縣ノ主管ニ）
第一課	宮城縣	（宮城縣ノ主管ニ）
第二課	福島縣	（福島縣ノ主管ニ）
第三課	北海道	（北海道ノ主管ニ）

五日付官報を以て左記の如く公布を見た。

厚生科學研究所官制中改正ノ件

（昭和十六年十月三十日 勅令第九百三十八號）

厚生科學研究所官制中左ノ通改正ス

第二條第一項中「教授專任七人」ヲ「教授專任九人」ニ、

「助教專任四人」ヲ「助教專任五人」ニ、「助手」專任四十六人」ヲ「助手」專任四十九人」ニ、「書記專任九人」ヲ「書記專任十人」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

熱帶醫學研究所官制中改正ノ件

（昭和十六年十一月十五日 勅令第九百六十八號）

熱帶醫學研究所官制中左ノ通改正ス

第三條中「技手專任二十五人」ヲ「技手專任三十三人」ニ改ム

第九條第二項中「八人」ヲ「十一人」ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔參照〕

昭和十四年四月二十日勅令第二百七十八號熱帶醫學研究所官制抄録

第九條 臺北帝國大學教授ニシテ所長又ハ所員ニ補セラレタル者ニハ講座ヲ擔任セシメザルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ講座ヲ擔任セザル教授及所員ニ補セラレ専ラ所務ニ從事スル助教ハ通ジテ八人

トシ臺北帝國大學ノ定員外トス

國民勤勞報國協力令の公布

國家總動員法に基ク國民勤勞報國に關する勅令案要綱については本誌前々號本欄に既報の如くであるが、

同令は昭和十六年十一月二十二日付官報を以て公布を見、昭和十六年十二月一日より施行せらるることとなつた。之を掲ぐれば次の如くである。

國民勤勞報國協力令（昭和十六年十一月二十二日 勅令第九百九十五號）

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル場合ヲ含ム第五條ノ規定ニ基ク帝國國民ノ勤勞報國ヲ目的トスル協力ニシテ隊組織ニ依ルモノ（以下國民勤勞報國隊ニ依ル協力ト稱ス）ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ハ國、地方公共團體又ハ厚生大臣若ハ地方長官ノ指定スル者ノ行フ命令ヲ以テ定ムル總動員業務ニ付之ヲ爲サシムルモノトス

第三條 國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムルべき者ハ帝國國民ニシテ年齢十四年以上四十年未満ノ男子及年齢十四年以上二十五年未満ノ女子（妻及届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル女子ヲ除ク）トス

前項該當者以外ノ者ハ志願ニ依リ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條ノ規定ニ依リ學校長ニ對シ必要ナル措置ヲ命ズル場合ノ學校在學者ノ國民勤勞報國隊ニ依ル協力ニ關シテハ前二項ノ規定ニ拘ラズ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

厚生科學研究所及び熱帶醫學研究所官制中改正の件公布

人口問題研究所と並んで人口問題研究上關係の尠くない厚生科學研究所及び熱帶醫學研究所官制中一部改正の件はそれぞれ昭和十六年十一月一日及び十一月十